

演題名	3階ご利用者における思い出ノートを活用した親身な対応の提供		
施設名	介護老人保健施設しおさい	(ふりがな) 発表者(職種)	もり りゅうた 森 竜太 (介護福祉士)
(ふりがな) チーム名	おもいで せいさくいんかい 思い出ノート制作委員会		
分類	③患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの		
取り組み種別	施策実行型		
改善しようとした 問題課題	日々の業務の中、ご利用者に親身な対応を提供するに当り、ニーズ把握出来たうえで提供出来ているのか。職員の自己満足になっていないか。ご利用者が、職員の誰もが、いつも自分の事を知ってくれている・見てくれている、と実感できているのか、疑問に感じるがあった。思い出ノートを活用することで、ご利用者のニーズを捉えることが出来れば、親身な対応の提供に繋がり、幸せホルモンが高まるのではないかと考えた。		
改善の指標と その目標値	(指 標) 高齢者生きがいスケール(K-1式) 認知症高齢者の健康関連(QOL-D) (目標値) 令和6年5月までにK-1式とQOL-D評価点数の改善		
実施した対策	①思い出ノートの作成 ②合唱の提供 ③作品作りの提供 ④季節外出の実施		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) K-1式 14名平均 -0.53pt QOL-D 14名平均 陰性感情、落ち着きのなさ以外2.62pt 陰性感情、落ち着きのなさ1.78pt (実施後) K-1式 14名平均 0.16pt(0.69pt改善) QOL-D 14名平均 陰性感情、落ち着きのなさ以外3.34pt(0.72pt改善) 陰性感情、落ち着きのなさ1.21pt(-0.58pt改善)		
歯止めと 標準化	標準化:新規ご利用者入所時に居室担当職員が思い出ノートを使用しご利用者のニーズ把握を実施する 教育:入職3か月以内に教育担当が思い出ノートの実施理由を説明する 管理:3月毎に居室担当者がスケールの評価を実施する		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ②複数の職場が連携した活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動	チーム メンバー (職種)	1 長嶋 とも美 看護師
活動の場 ※複数選択可	②支援部門		2 森 竜太 介護福祉士
活動期間	令和6年1月 ~ 令和6年5月		3 杉山 真由美 理学療法士
リーダー名 (職種)	森 竜太 (介護福祉士)		4 鈴木 孝千代 ケアワーカー
活動回数	3 回		5 糸川 久美子 栄養士
			6 與後 智明 支援相談員

【背景】

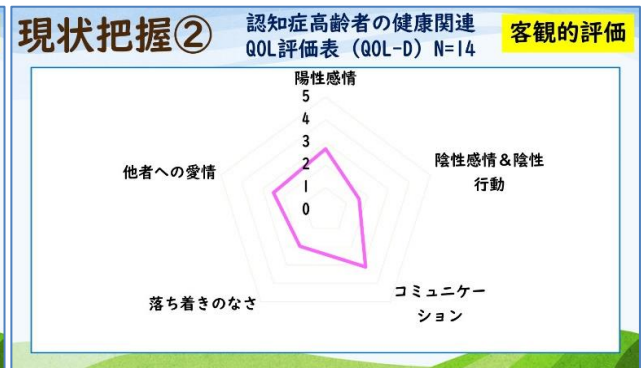
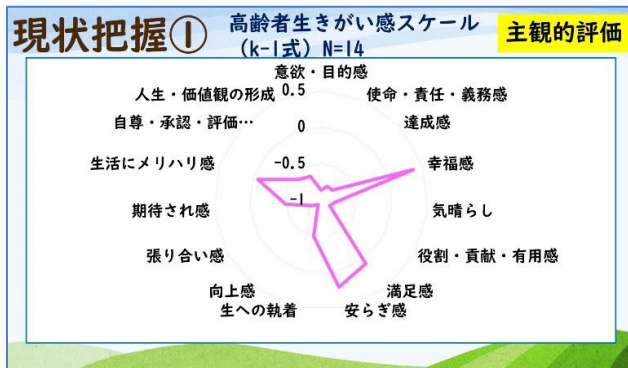
はじめに

本当のニーズ把握？
自己満足？
知っているのか？
見ていられているのか？

はじめに

思い出ノート → 真のニーズ → 親身な対応 → 幸せホルモン

【現状把握】



【対策のねらい所】



【目標設定】

目標の設定

令和6年5月までに
k-1式とQOL-Dの
評価点数を改善する

根拠として・・・
親身な対応の提供をすることで、生きがいスケールとQOL-Dの改善が見込まれ、幸せホルモンの分泌に繋がると考えた

【対策の検討】



【対策の実施】

対策の実施① 《思い出ノート作成》

思い出ノートとは・・・

思い出ノートは、簡単な質問に答えていくことで、人生を振り返ることができるノートです。そして、書き終えたときには自然に「自分史」ができています。今、人生を振り返り整理することは、人生100年時代において、新たな目標や目的を見つけることに役立ちます。健康に、そしてアクティブな人生を過ごすために、是非、「あなただけの軌跡」を記してみてください。

厚生労働省・老人保健健康増進等事業に採択
(2019年6月～2020年3月)

対策の実施② 《合唱の提供》

しおさい開設記念日に通所のイベントで合唱披露

対策の実施③ 《作品作りの提供》

【お花作り】

これ、かわいいね

【生け花】

生け花をやっていたの

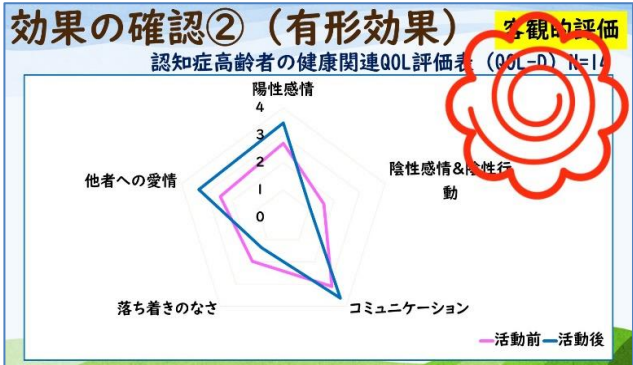
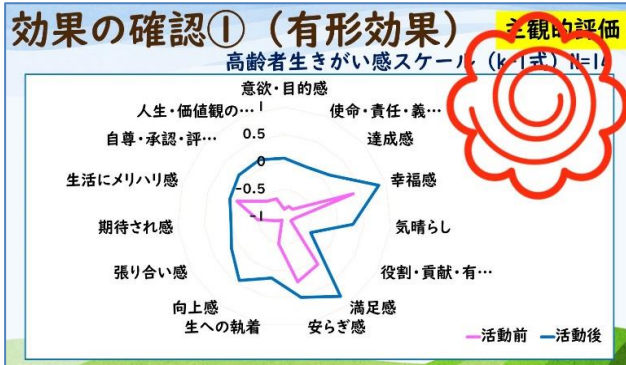
【塗り絵】

久しぶりだけど楽しい

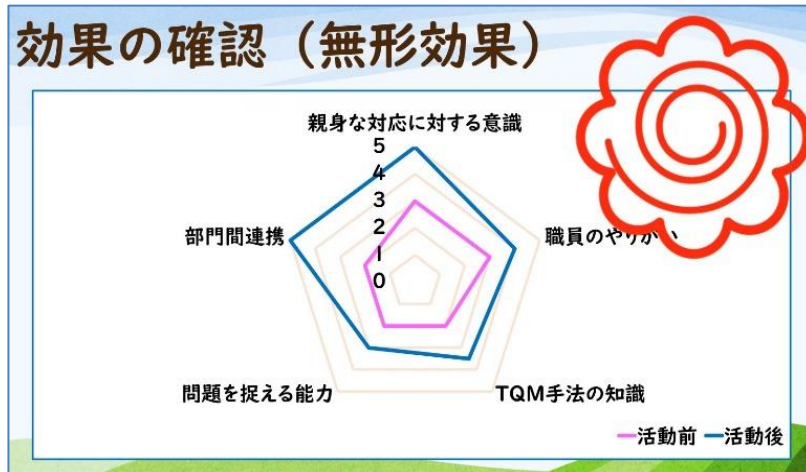
各々好きな題材で作品作りを実施

対策の実施④ 《季節外出の実施》

【効果の確認(有形効果)】



【効果の確認(無形効果)】



【標準化と管理の定着】

標準化と管理の定着

	実施項目	なぜ	誰が	いつ	どこで	どうする
標準化	思い出ノート	ニーズ把握	居室担当	新規入所時	居室	実施
教育	思い出ノート	実施理由の理解	教育担当	入職3か月以内	ステーション	説明
管理	スケール	数値確認	居室担当	3月毎	居室	評価

【効果の確認(波及効果)】

